

U.S. Indicators

米国 下振れたが勢いと広がりを持って拡大(17年4月ISM製造業景気指数)

公表日：2017年5月1日(月)

～新規受注・生産が高い水準維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
16/05	51.0	54.8	52.7	49.3	45.0	53.3	47.0	63.5	52.5	50.0
16/06	52.8	55.6	54.8	50.0	48.5	54.9	52.5	60.5	53.5	52.0
16/07	52.3	56.1	54.8	49.3	49.5	51.8	48.0	55.0	52.5	52.0
16/08	49.4	48.9	49.3	48.7	49.0	51.2	45.5	53.0	52.5	47.0
16/09	51.7	55.0	53.3	50.0	49.5	50.8	49.5	53.0	52.0	49.0
16/10	52.0	54.1	54.4	51.8	47.5	52.2	45.5	54.5	52.5	52.0
16/11	53.5	54.8	55.6	52.5	49.0	55.5	49.0	54.5	52.0	50.5
16/12	54.5	60.3	59.4	52.8	47.0	53.0	49.0	65.5	56.0	50.5
17/01	56.0	60.4	61.4	56.1	48.5	53.6	49.5	69.0	54.5	50.0
17/02	57.7	65.1	62.9	54.2	51.5	54.8	57.0	68.0	55.0	54.0
17/03	57.2	64.5	57.6	58.9	49.0	55.9	57.5	70.5	59.0	53.5
17/04	54.8	57.5	58.6	52.0	51.0	55.1	57.0	68.5	59.5	55.5

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

製造業景気指数は54.8 と前月比2.4%ポイント 低下

17年4月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、3月にかけて高い水準に上昇していたこともあり、54.8と前月比▲2.4%ポイント低下したが、高い水準を維持した(市場予想中央値56.5、筆者予想55.3)。ISM製造業景気指数は、ドル高の影響を受けながらも、国内需要の堅調さのほか、原油価格の上昇による石油掘削リグの稼働数の増加、世界的な需要の拡大、在庫調整の進展等を背景に米国製造業活動が活発化した状態を維持していることを示している。

総合指数を構成する項目では、生産、在庫が上昇したが、新規受注、雇用、入荷遅延が前月から低下した。新規受注は低下したが、内外での需要の拡大を受け高い水準を維持しており、好調が持続することを示唆している。構成項目別の総合指数への寄与度をみると、在庫(前月比+0.40%p)、生産(前月比+0.20%p)が押し上げ寄与となった一方で、新規受注(前月比▲1.40%p)、雇用(前月比▲1.38%p)、入荷遅延(前月比▲0.16%p)が押し下げ寄与となり、総合指数は前月比2.4%ポイント低下した。

総合(全18業種、下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す)で拡大した業種は、電気設備・部品、繊維、非鉄、家具・同関連、プラスチック・ゴム、加工金属、印刷・関連サポート活動、一般機械、紙製品、化学製品、食品・飲料・タバコ、一次金属、その他製造業、コンピューター・電子機器、石油・石炭、輸送機器の16業種(前月17業種)と前月から減少したものの、大部分の業種が拡大した。需要の強まり等を背景に、広がりを持った製造業の拡大が示されている。一方、縮小した業種はアパレルの1業種(ゼロ業種)となった。木材製品は変わらず。

報告では、輸送機器を除き前向きな内容だった。今回唯一縮小を示したアパレル・皮

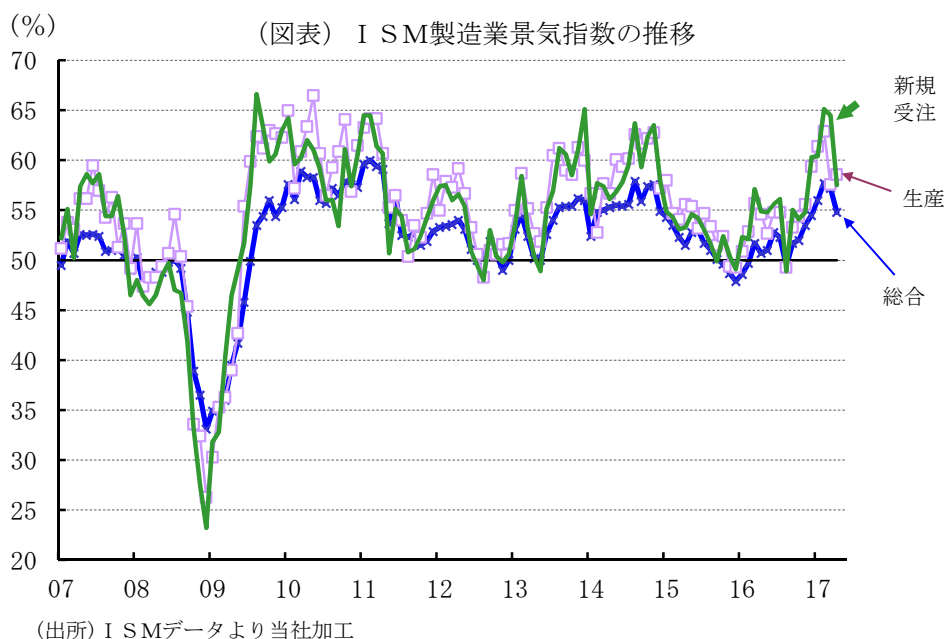
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

革・関連製品でさえ長期亘り減少していた売上高が1Qに増加に転じたと報告した。化学製品では受注や新しい計画が増えていると指摘されたほか、コンピューター・電子機器は政府からの大規模な受注を受けたと報告された。また、加工金属は、事業が順調に改善し、利益率が高まっていると指摘した。その他製造業は市場の強さが継続しているとしたうえで、世界情勢や政治的な見出しが個人を不安にさせているが、事業環境は堅調なままであると報告した。さらに、プラスチック・ゴムは、事業、見通しは良好で、多くのカテゴリーでサプライヤーからの価格上昇がみられると指摘し、家具・同関連では事業が堅調と報告された。

輸送機器では、軍や政府関連の需要が強いままであるが、商業需要は横ばいから僅かに減少していると慎重な報告となった。

製造業景気指数はドル高の影響等により緩やかな拡大を示す水準に低下する公算

今後、雇用・所得の拡大等を背景に個人消費を中心とした国内需要が再加速するほか、世界経済の拡大が続くとみられる一方で、ドル実効レートは米国景気への楽観的な見方の高まりや利上げペース加速期待の強まり、米国への資金還流等の影響を受け、高止まりすると予想される。このような中で、ISM製造業景気指数は、製造業の緩やかな拡大を示す水準に低下すると予想される。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。